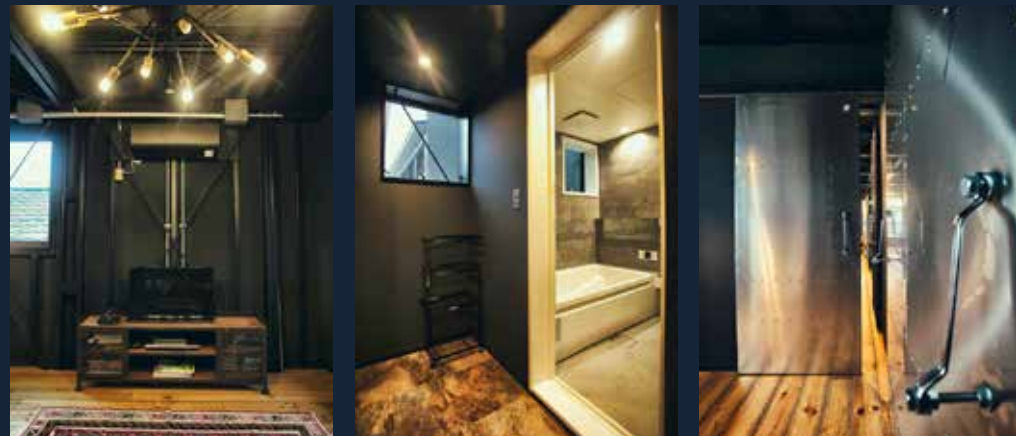


Text/Atsushi TAMADA Photo/Takaaki MIURA



1 / LGSのブレースを横目にリビングを望む。住宅の施主であるご夫妻には今年初めに赤ちゃんも誕生。こだわりぬいて完成させた注文住宅で子供と過ごす暮らしは、最高に幸せとのこと。2 / オーナーが自ら探してきたインダストリアル系のロッカーを配置した玄関まわり。このロッカーがびったり収まるように設計したというこだわりようです。ちょこんと正面にあるヘルメットもかわいい。3 / 施主様のオリジナル製作アルミのハンガードア。黒い壁に鈍い光沢感がたまらない。4 / 浴室の横にある脱衣室までブラックウォールの徹底ぶり。5 / エアコンをDIYで黒く塗装し、電線配管もブレースとともにシンメトリーに配置したテレビスペース。

2 1  
5 4 3



この家の特長は、何と言っても家全体をブラックに統一したこと。その決め手は、通常のチャコールグレーではなく、「ブラックウォール」と呼ぶ黒い壁を採用したこと。これにより、異なるトーンの黒の中においてグラデーションが生まれるのです。壁の色が黒いと鉄骨の素材感がかすんでしまふと思いきや、むしろ逆。黒の濃淡が鉄骨の骨組みの力強さと素材感を浮き彫りにして、シックなメリハリを出すのです。特に効果が発揮するのが夜の表情。暖色系の照明の陰影で浮き立つ黒の鉄骨。インテリアデザインの素養のあるこの家のオーナーは、そこにラフな木質系や、生成りの布系など柔らかい素材感を巧みに取り合わせて、魅力をもっと増しています。

このような都市型住宅を計画する際は、土地形状の吟味がとても大切です。この土地の間口は2間半(11間)は畳一枚分の長さ。レッカー車が敷地に乗り込んで奥から順に鉄骨を組み上げていく最少数法です。土地探しの段階から、施工のポイントもチェックしながら計画を進めました。

鉄骨の組み立てにも工夫が必要です。3DのCGで1日ごとの鉄骨建て方の推移を表現して、工場での出荷段階から仕分けをしており、現場では1日の組み立てのみ搬入。鉄骨製作工場にこの緻密なプロセスを取り入れることで都市型ガレージハウスの建築が可能になるのです。

立地や工事条件によって、費用は多少変わってきますが、都市部でデイトナハウスを建てたいと思っていの方は気軽にお問い合わせください。

鉄骨の素材感とブラックウォールで構成したメインベッドルームは、武骨さと優しさの絶妙に同居。永い間、愛着が持続する飽きのこない空間となっています。照明のトーンを落とせば、鉄骨の表情は更に変化。ここでもエアコンは施主様オリジナルの黒色塗装。通りに面した明るい部屋の大口にフィルターをかけるブラインドのセレクトがとても重要。

3Fのルーファバルコニー。壁面の凹凸の奥行きと、均等配列のブレースが外観を印象的にする意匠的效果がうれしい。加えて屋根つきのバルコニーの利便性は捨てがたい。どうしてもここでBBQがしたくなる。オリジナル製作の手すりの鉄骨も大事な要素。



デイトナ不動産

OWNER

東京都大田区  
楠川浩之さん

# 合理性と秀逸なフォルムの合一 東京の商店街に建つ都市型ガレージハウス

艶消し黒の鉄骨を露出させて、ハードボイルド感覚全開のガレージハウスが遂に完成しました。  
狭い土地でも建築可能で、クルマ好きの生活にもフィットするデイトナハウスならではの新しい都市型住宅です。



Text/Atsushi TAMADA

お待たせしました！  
 デイトナ不動産  
 NEWS 01

## 出雲のモーターホテル“OCEAN BASE HAGANE”が8月初旬オープン決定！詳しくは予約サイトへ

かねてから建築中で、デイトナ不動産でも度々経過をお知らせしてきた、海辺のモーターホテルがいよいよ8月初旬にオープンします。客室は4部屋。グランピング形式でグループ宿泊が可能です。夕食はBBQセットを取り揃えていますし、事前に申し込みれば地元の食材、肉や野菜、日本海の海の幸なども予約可能です。海沿いを仲間とツーリングして「OCEAN

BASE-HAGANE」に到着。オープンデッキでBBQ、デイトナプロデュースのクラフトビール「BREW BASE」で乾杯。思わず大きな声で叫びたいような最高のひと時を過ごせます。

このモーターホテルが立地する多伎海岸は出雲の海岸の西の端に位置します。東の端には有名な出雲大社があります。いかにもパワースポット。古代人の

遺跡も多数発掘されている場所ですから、自然のエネルギーが充満している場所であることは間違いのないと思います。オープンデッキから眺める日本海と水平線に沈む夕日は圧巻です。“西方浄土”という言葉がありますが、水平線の先に争いのない夢の国が存在するという古代人の幻想が思わず頭をよぎるような瞬間を味わえます。ここはサーフィンのスポットとしても有名でOCEAN BASE-HAGANEでもサーフボードのレンタルや最近流行のSUPの教室も行う予定。SUPヨガで海に沈む夕日と静かな波を感じながら瞑想してみたいかでしょうか？

この建物もデイトナハウスの特長である高床式を採用しています。海から見た時にふわりと浮かび上がったような建物のフォルムは、他に実例のない不思議で魅力的なものです。夕日を浴びて浮かび上がる姿は脳裏に焼き付いて消えません。道路側から見た姿も軽快感と重厚感の絶妙なバランス。性能のいい乗り物に感じるイメージそのものなのです。

OCEAN BASE-HAGANEのお申し込みは、専用WEBサイトからお願いします。

2Fの寝室前のオープンデッキから望む日本海独特の夕日。ここで仲間とのBBQは人生最良のひと時を約束してくれます。波の音を聞きながら眠り、波の音を覚ます客室。静かな夏の海。荒れる秋から冬にかけての海。いろんな表情が楽しめます。



DAYTONA HOUSE×LDK山陰 0853-25-2272 ob-hagane.com



## デイトナ不動産



## 兵庫県相生市でオープンハウスが8月末まで実施中 高床式ガレージ住宅を体感せよ

兵庫県相生市に完成した高床式平屋「Spiky-flat」のモデルハウスがこのほどオープンしました。  
 8月末まで随時見学可能。旧車やカスタムバイクが終結した夜の撮影会も圧巻です。

デイトナ不動産  
 NEWS 02

## 足立区のガレージアパート“BLACK HANGAR 2312”10月初旬のオープンに向けて先行入居募集中

快調に工事が進行している東京都足立区皿沼のGLB 6世帯、10月初旬に入居開始と決定しました。それに先立って、専用WEBサイトでの入居申し込みを開始しています。

呼び名も新たに「BLACK HANGAR 2312 (以下BH-2312)」と決定しました。その名の通り、漆黒の格納庫をイメージしてデザイン。実際にガレージや居室部分の内壁が従来白色だったものを、このBH-2312ではチャコールグレーにしています。前頁の大森の都市型住宅同様にこの「ブラックウォール」を採用しています。黒のグラデーションの中に浮き立つ艶消しの鉄骨フレーム。従来にも増してハードボイルドなガレージ空間になっています。写真は断熱工事の様子です。デイトナハウスは標準仕様で写真のように“発泡ポリスチレンフォーム”という板状の断熱材で外断熱しています。これは木造のグラスウール断熱よりも格段に断熱性能がいいものです。したがって、居住性には全く問題がありません。

是非お早目に専用WEBサイトでスペックを確認してください。



ミッドセンチュリーデザインのデザイン手法を踏襲したリビングルーム。庭木をライトアップしてリビングの照明を落とせばリビング空間は昼間とは全く別の顔をみせます。インナーグリーンはモンステラ。ミッドセンチュリーデザインご用意の定番アイテムです。

このほど兵庫県相生市にデイトナハウスオリジナルの高床式工法「Spiky-flat」で建築された平屋のモデルハウスがオープンしました。田園風景の中にあたりと浮かび上がったそのフォルムは、非常に特徴的ですが、不思議と日本の風景にマッチしています。またガレージ部分は少し高くなってパランスのいい外観を形成しています。このほどそのオープンを記念して地元の自動車愛好家やバイク愛好家が集結。撮影会が開催されました。ダットサンフェアレディSR311型と初代スカイライン、いわゆるハコスカのGTRも到着。素晴らしい整備されたエンジンが響かせるサウンドはいつまでも聞いていたいほど素晴らしいものです。それぞれをガレージに格納しての撮影。艶消し黒の鉄骨ガレージに、この2台の名車

は笑いが出るほどびびったりとマッチしてしましました。強調された鉄骨フレームの緊張感をオリジナル棚金物「FASフラケット」に陳列された愛着の小物たちが適度にやわらげます。この時代のクルマには表情がある。誰が見てもクルマが喜んでるように感じます。

住宅の内部も素晴らしいものです。特に庭に面したリビングルームはミッドセンチュリーデザインの本領を発揮した直線的な基調を採用した空間です。そこにインテリアグリーンや庭の樹木の有機的な要素があることで、長い間愛着が持続する空間性が生まれます。モダンな住居空間と鉄骨素材のガレージ空間。その中にクルマやバイクを格納する。その相乗効果こそがデイトナハウスの作り出すポテンシャルです。このモデルハウスはそのことをフルスイングで表現しているのです。オープンハウスはロングランで公開中ですので、是非モーターライフとミッドセンチュリーデザインの融合を体感してみたいかでしょうか？ 詳しくは、専用HPから検索してみてください。



完璧に整備されたフェアレディのエンジンルームとガルバリウム壁面の対比(上)。撮影会を終えて地元愛好家たちで記念撮影(下)。